

ごあいさつ

この度、約5年ぶりに東ヶ丘デイサービス通信を発行することとなりました☆(๑_๑)☆
 今年は丑年、芽を出して成長することができるように結果に向けてコツコツと努力するべき年といわれています。十二支の物語でも伝えられているように、ゆっくりだけれど着実に進んでいく牛の様子から、焦らず着実に物事を進めて行くべき年ともいわれます。これから定期的に東ヶ丘デイの様子をお伝えしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



イラスト：池永貞子様

令和3年 合唱コンクール

ベストグループ



コロナ対策を行い、2年ぶりに合唱コンクールが行われました。
 長い間練習できたおかげで、見事銀賞ももらいました。
 やっぱり皆で何かをやるっていいですね



書：江藤サカエ様

今年の2月より毎週金曜日に5名の利用者様と畑と花だんの整備を行っています。
 畑には夏野菜(トモキチかなす)花だんには花を植える予定です。
 5名の利用者様と話し合いながら計画を立てています。
 只今メンバーを募集しています。一緒にしませんか？



東ヶ丘にきて2ヶ月たちました。毎日たのしくしています。

ぬりえ

青沼洋子

初恋の思い出

お話：橋本 弘様 聞き手：西岡恵津子(音楽療法士)

西岡：初恋の思い出を聞かせて下さい。
 橋本：結婚相手と良かる？ずっと小さい時から同じクラスで、同級生。中学まで一緒やった。これうちの母ちゃん(携帯の待受画面を開く)西岡：わあー！素敵！
 橋本：こちらの方が綺麗かった。頭は私の方が良かった(笑)そらはっきりしよう。息子はこっち側に似とうけね、背も175。娘は悪いこと私に似とうとたい(笑)西岡：どこかで再会されたんですか？
 橋本：黒崎で再会したんよ。焼き鳥を食べに行っとったんやろね。4~5人で出てきたよ。私は商売でコーラをしょったきね、そしたら「あっ！」と会った(おうた)訳よ。ちょうど店から出て帰りよう時に。「なんか綺麗になつうな」とかそういうのが印象でね、お互いにね。そして付きあって、まあ一緒になつてね。
 西岡：そうなんですね〜何歳の時に結婚されたんですか？
 橋本：28ぐらい。50年の時に宮若で、子どもや孫から金婚式をしてもらった。52年一緒やった。私の方が3年も長生きしとったい。男が残ったら残酷やが。でも初盆まで頑張った。
 橋本：恋はまだありました(笑)純情でね、手も握りきらんやった(笑)デートに誘ったら来てくれたんよ。八幡の高見神社にね。はがいいくらい純情やったね〜西岡：それっきりやったんですか？橋本：うん
 西岡：じゃあそのあとに奥さんと？橋本：出くわしたからね。そげなことです(笑)



私の楽しい時間

私は火・水・金とデイにお世話になっています。いつもの通り、職員さんの介護して下さる様子が感じられます。不自由な体で過ごすのは悔やまれてネガティブな心になりがちですが職員さん方の明るい声かけと心遣いで楽しい時間を過ごさせてもらっています。コーヒータイムはほっとして大変楽しいです。心から感謝しております。ありがとうございます。

宗原 幸子



スタッフ紹介

東ヶ丘デイで介護を担当している大場です。コロナ禍でいつもできていた事ができない日々が続く、利用者様にも協力してもらう事が増えています。マスクをつけて活動するのは辛いですが、少しでも笑顔で過ごせるように、頑張りますので、一緒に楽しい事を探していきましょう！
 困りごと・悩みごとなど相談も受け付けますので頼ってください



編集後記

新聞を作ろうと言われて1ヶ月が過ぎました。内容を話し合い、記事の担当を決め、いよいよ発行日となりましたが、できあがりの素晴らしさに感動しています。私はデイにお世話になって5ヶ月が過ぎましたが、多才な人が多いのに驚いています。私はというと「天知る地知る我も知る」をモットーに、一日一日を大事に、助けを受けながら生きることができています。ありがたいことです。昔よく行っていたバッグ屋さんのご主人が「商売は牛のよだれのような物」と言われていました。私も根気強く皆さんの協力を得て、この新聞が永く永く続き、東ヶ丘町内の皆さんにも読んでいただけるよう、紙面を広げて行けたらいいなと考えています。次回もどうぞお楽しみに。



武田加津江

頑張ります

小川典子

習字 掛け軸